

# 聞こえてる？子どもたちの声 ～UFOC活動を通して～

学校に行きたくても行けないことが  
自分一人では解決できない・・・  
だから、共感してくれる仲間と出会えない・・・

こんな子どもたちの声を  
聞いたことがありますか？

## ■不登校になったきっかけ

・家庭生活に起因(ヤングケアラー含む)

いじめを除く友人関係をめぐる問題・学業不振・障害 など

## ■令和元年度全国不登校人数

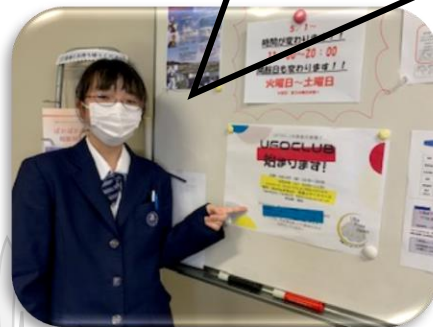
※高校生の不登校の人数は今年減少したが小中の不登校の人数は年々増加している。  
中には認識されていない人もいるためこれ以上の人数になると考えられる。

	人数	全国割合
小学校	53350人	0.83%
中学校	127922人	3.94%
高等学校	50100人	1.58%

## ■令和元年度山口県不登校生徒数

	人数	全国順位
小学校	500人	29位
中学校	1322人	29位
高等学校	310人	41位

私たちは、そんな地域で学校に行けない仲間(子どもたち)をほっとけません。  
こんな人数が私たちと出会えず一人で悩んでいるなんて・・・。  
そこで、高校生が運営する交流の場  
「UFOC」活動を立ち上げました。



## 【UFOC】

Ube Free Open Club は、  
15～23歳までの学生を対象に  
自分の好きなことを自分たちで考  
えて毎月2回集まって自由に交流す  
る場。所属学校にこだわらずだれも  
が自由に入出入りできる。「未確認の  
友人に出会える場所・活動」から  
名づけられた。

- 【UFOCの活動目的】**
- ・学校という枠にとられず、**人とのかわりが持てるような場所**をつくる。(勉強の場も)
  - ・**多様性の社会**だからこそ、一人ひとりが好きなことをしながら、自分の個性を理解してくれる人と繋がるきっかけをつくる。
  - ・**参加しやすい場**を作る。IT社会の今、**出会いはオンライン上**でも可能。最初の出会いはどんな形でもよく、「会って話したい、共に活動したい」と思うような**コミュニケーションの取り方を提案**する。

**【UFOCの現在までの活動】** ~なかなか人前にでることができない藍くんの変化~



**【オンラインゲーム(eスポーツ)】**  
 オンラインなどでゲームをしている人は多い。オンライン上で仲良くなったら、次は、会って話しながらゲームを一緒に楽しみたい!となっていく。



**【カードゲーム】**  
 仲間の心理などがわかるようなゲームが増えている。話すことが苦手でもカードゲームを通して相手を理解できるアイテムとして有効。



**【季節行事・イベント】**  
 季節のさまざまな行事やイベントを通して、仲間と楽しむ空間を体験することは大切。七夕や夏祭り、クリスマスなど非日常を感じることで人との交流の楽しさを経験する。

HPを作成し、誰でもアクセスできるように準備

<https://sites.google.com/kagawa-h.ed.jp/ufoc-kagawapc2021/>



HPのアドレスとQRコード



UFOC活動の様子



オリジナルロゴ



2021. 2. 28「The 部活動体験」での宇部市長とのゲーム対戦



同世代の趣味が合う友人ができる環境が参加しやすい理由

しかし.. ↓

実際に毎月の活動やホームページなどでも案内しているが、子どもたちの参加は増えない現状がある。もともと家から出づらい状況がある子どもたちにとってはこの場もコミュニケーションに不安を抱えており、参加したくてもできずにいる。

それなら.. ↓ 実際に会わない方法でのコミュニケーション方法はないか？

SNSでの交流の場を作れば、参加しやすくなるのではないか。

## 新しい交流の場である SNS活動プロジェクト

- ★「アバター」で交流できる。
- ★「自分から近づいた範囲の人」と話せる。
- ★直接会話でもチャットでもよい。
- ★仲間だけでなく相談できる大人の存在もある。
- ★「個別会議室」で個人的交流ができる。

バーチャルスペース 紹介動画



大分県大分市で実施されている「フューチャーCプロジェクト」のバーチャルスペースと連携の話し合いを進め、実用化に向けて実証実験を行っている。

藍くんは  
このSNSを  
見つけたことで、  
新しい交流の場を  
見つけ、少しずつ  
心を開き始めている。

## SNS版「UFOC」を見つけた 藍くんの変化



ぼくらは、この「笑顔」に会いたかったんだ!!

SNS

ボードゲーム



自分の趣味や特性に合った仲間はきっといるはず。一人ひとりが参加しやすい環境を作れば、きっと私たちと繋がることができると思います。藍くんが笑顔になれる場所がここにある。

Eスポーツ

ものづくり